

## 令和4年第3回定例会一般質問

日 時 令和4年9月6日（火曜）、7日（水曜）、8日（木曜）、9日（金曜）  
いずれも午前10時から  
※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書（一般質問）のとおり

発言順	議員名	質問日（予定）
1	吹春 やすたか	令和4年9月6日（火曜）
2	五十嵐 京子	
3	小林 正樹	
4	遠藤 百合子	
5	村山 ひでき	
6	宮下 誠	
7	沖浦 あつし	令和4年9月7日（水曜）
8	岸田 正義	
9	清水 がく	
10	渡辺 ふき子	
11	古畑 俊男	
12	坂井 えつ子	
13	白井 亨	令和4年9月8日（木曜）
14	水谷 たかこ	
15	たゆ 久貴	
16	水上 洋志	
17	安田 けいこ	
18	斎藤 康夫	
19	片山 かおる	令和4年9月9日（金曜）
20	森戸 よう子	
21	湯沢 綾子	
22	渡辺 大三	



# 一般質問の通告について

発言順	2
-----	---

令和 4年8月25日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 五十嵐 京子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。  
記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 在宅医療の充実に向けて 地域包括ケアシステムの構築が自治体の課題になって以来、医療や介護などの地域資源と地域の人的資源を活用しての様々な取り組みが進められてきた。現状と課題を明らかにし、最期まで自宅で過ごせる環境づくりを求める。</p> <p>ア 「第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」の在宅医療・介護連携の現状と、ACP（人生会議）の進捗状況について</p> <p>イ 小金井における在宅医療の可能性</p> <p>ウ 事業推進の課題と市民への周知は</p>	
<p>2. 東小金井駅北口周辺の街づくりについて 区画整理事業の進捗により、町の景観も変化をしてくれており、東西道路の整備により完成へと進んでいることがわかる。周辺の課題解決も含め、街づくりの推進を求める。</p> <p>ア 駅前公園の活用方法について</p> <p>イ まちづくり事業用地の活用など今後の市民サービスの充実について</p> <p>ウ 東大通りの進捗状況は</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

3

令和 4年 8月 25日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林 正樹

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>F C東京の株主自治体として市民全体がメリットを感じられる取組を。</u></p> <p><u>小金井市はF C東京（東京フットボールクラブ株式会社）の株主となっている。</u> <u>市にとって財産とも言える大切な関係性を更に活かすべきではないか。</u></p> <p><u>ア）株主となっている6自治体と議会のF C東京との取組について問う</u> <u>イ）他の自治体を参考に、小金井市でも更なる取り組みを実施しないか</u> <u>ウ）「地域活性化包括連携協定」を結び、スポーツをきっかけとした、いきいき健やかなまちづくりを進め、地域社会の一層の活性化を図らないか。</u></p> <p>2. <u>A E D（自動体外式除細動器）の更なる活用について</u></p> <p><u>A E Dの有効性は言うまでもないが、利用率は未だ4%だと言われている。</u> <u>議会でも繰り返し取り上げられてきたが、改めて課題解決に向けて問う。</u></p> <p><u>ア）市内のA E Dの設置状況・市民の認知度についての認識を問う</u> <u>イ）学校を含む公共施設に設置されているA E Dの屋外設置への検討状況</u> <u>ウ）A E Dボックスの中に、傷病者の胸部を覆う三角巾を配備しないか</u> <u>エ）市内事業者へ全国A E Dマップ（日本救急医療財団）への登録促進・A E D設置の協力を求めないか</u> <u>オ）日中、市内で活動をしている中学生にA E Dの理解を広めないか</u></p> <p>3. <u>高校生の医療費助成について</u></p> <p><u>第1回定例会の一般質問では、中学校3年生までの所得制限廃止を半年早め、所得制限無しで高校生の医療費助成と合わせて令和5年4月の開始を要望している。</u> <u>期間が迫っている中で、再度、検討状況について問う。</u></p> <p><u>ア）高校3年生までの医療費助成のスケジュールについて改めて問う</u> <u>イ）他市に後れを取ることなく、令和5年4月に開始すべき</u></p>	

# 一般質問の通告について

発言順

4

令和4年8月26日  
(西暦2022)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><u>1, ネウボラで子育て家庭の支援を！！</u></p> <p><u>フィンランドに学んだ子供の未来保障として多くの自治体が導入を試みているネウボラの考え方を市も取り入れないか</u></p> <p><u>ひとり親家庭の貧困率、児童相談所相談数、悲惨な児童虐待事件、子どもの死因のトップは自殺、負の連鎖の断ち切り方等、根本的にその対処を考えていく必要がある</u></p> <p><u>(1) ネウボラに関する市の認識は</u></p> <p><u>(2) 他自治体の取り組みで参考になる点があるか</u></p> <p><u>(3) 考え方を取り入れてみないか</u></p>	
<p><u>2, 公衆喫煙所の設置を考えないか</u></p> <p><u>タバコのポイ捨ては駅周辺で多くみられるが、ポイ捨て減少を考えていく上でも公衆喫煙所は効果がある</u></p> <p><u>(1) タバコのポイ捨てに関する現状認識は</u></p> <p><u>(2) 公衆喫煙所についての考え方は</u></p> <p><u>(3) 公衆喫煙所の設置を！！</u></p>	
<p><u>3, 薬物乱用防止を更に推進していくために</u></p> <p><u>東京都薬物乱用防止小金井地区推進協議会や市民運動を中心にした活動を通して薬物乱用防止に取り組んでいる</u></p> <p><u>(1) 教育委員会の取り組みは</u></p> <p><u>(2) 健康課の取り組みは</u></p> <p><u>(3) 薬物事犯の防止に関する啓発の推進を</u></p>	

# 一般質問の通告について

発言順

5

令和4年 8月 29日  
(西暦2022)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

村山ひでき

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1. 庁舎等建設の行方を考える</b></p> <p>市長と議長が協定書を交わし、「市長が着工可能な成案を得られるよう、市長と市議会との意見交換を通じて本事業の進捗をはかるため論点を整理することを目的と」した、前代未聞の会議体である「庁舎等建設に関する協議会」(以下、「協議会」という。)も回を重ねて第7回目が終了した。この協定書の締結期間は今年10月31日までだが、出口を探すために現時点で何をしなければならないのか? 引き続き開催中である協議会での議論の妨げにならないように内容に踏み込む提案ではなく、まとめ方を探るための交通整理を行いたい。</p> <p>(1) 現行案と見直し案との比較検討</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①比較するために必要なことは何か</li><li>②見直し案に対する市の見解は</li></ul> <p>(2) まとめ方のイメージは</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①今後のスケジュールの確認</li><li>②中期財政計画の示し方</li></ul> <p><b>2. 名勝 小金井桜 100周年を迎える前に</b></p> <p>小金井桜は2024年12月9日に国の名勝指定100周年を迎える。漠然と周年を迎えるのではなく市としての考え方をもち準備していただきたい。</p> <p>(1) 市民参加の(仮称)記念イベント合同実行委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①市の考え方の確認</li><li>②準備状況と今後のスケジュール</li></ul> <p>(2) 「名勝」としての景観のために</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①苗木の補植状況</li><li>②成木の枯死状況について</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

6

令和 4年 8月 29日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、<u>地域コミュニティの現状と課題解決へ向けて</u></p> <p>(1) <u>地域コミュニティに関する研究会の報告書について</u></p> <p>(2) <u>3つの視点</u></p> <p>① <u>地域活動のデジタル化</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li><u>・デジタル化の必然性と導入のタイミング</u></li><li><u>・行政の積極的な取組みにより推進を</u></li></ul> <p>② <u>自治会等活動の持続可能性の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li><u>・自治会等の自己努力に加え、自治会等との関係性に関する行政側の改革も</u></li><li><u>・加入促進に向けた国の支援は</u></li><li><u>・行政協力業務などの総合的な見直し、「棚卸し」が必要では</u></li></ul> <p>③ <u>地域コミュニティの様々な主体間の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li><u>・地域コミュニティにおける多様な主体の「見える化」を</u></li><li><u>・住民の関心の高い分野において、様々な団体等との連携も含め目的を明確にした活動支援を</u></li><li><u>・資金面の支援について</u></li></ul> <p>(3) <u>ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）の観点から、長期的視野に立った地域行事の場所の整備・確保を望む</u></p>	
<p>2、<u>小・中学校にて、外部専門家による授業を拡大しないか</u></p> <p>(1) <u>改訂された学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」の意味するところは</u></p> <p>(2) <u>先進市の取り組みについて</u></p> <p>(3) <u>市内の小・中学校の取り組み状況は</u></p> <p>(4) <u>社会の仕組みの理解促進やキャリア教育の観点から、社会保険労務士にも授業に参加していただいているかどうか</u></p>	

# 一般質問の通告について

発言順	7
-----	---

令和 4 年 8 月 29 日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長 様

小金井市議会議員

(署名) 沖浦 あつし

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>(1) <u>公共施設マネジメントの観点からエネルギー消費量削減を</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>市内公共施設の光熱費削減に向けた取組について</u></li><li>◆ <u>公共施設マネジメントの組織体制について</u></li></ul>	
<p>(2) <u>スポーツ環境整備へ</u></p> <p><u>上水公園運動施設（市営グラウンド）の</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>備品の新調(更新)について</u></li><li>◆ <u>人工芝化の検討について</u></li></ul> <p><u>『安定して市民利用できる人工芝グラウンドを市内に1つ!!』</u></p>	
<p>(3) <u>市民の消費生活上の利便性向上へ</u></p> <p><u>事業者の地域の取組みを産業振興の観点で後方支援を</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <u>不用品交換コーナーの取組について</u></li><li>◆ <u>「Baton BOX」の取組について</u></li></ul>	





# 一般質問の通告について

発言順

9

令和4年 8月 29日  
(西暦 2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

清水 かく

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>小金井市もソーシャルメディアを積極的に活用しないか</u> 「小金井市公式Instagram」を採用しよう</p> <p>(1) 小金井市の魅力を発信するための効果的なシティプロモーションについて</p> <p>(2) 小金井市の魅力を再発見し、効果的なシビックプライドの醸成促進について</p> <p>2. <u>小金井市歌を積極的に活用しないか</u> シビックプライドの醸成にも寄与する、市民に周知され、親しみを持ち、世代を超えて歌い継がれていくような市歌活用を検討しよう</p> <p>(1) 現在の市歌の活用方法について</p> <p>(2) 今後、市歌を広げていくための活用方法について</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

# 一般質問の通告について

発言順	10
-----	----

令和 4 年 8 月 29 日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺 くるみ

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1, ICT を使った子育て支援サービスの充実を 母子手帳が 10 年ぶりに改訂され、多胎児や障がいがある子どもの家庭でも使いやすくなる検討がされている。</p> <p>① 母子手帳には、障害や低出生体重児にも対応する、子どもの成長に合わせた記録や情報提供が必要となっているが、小金井市の母子手帳の現状は</p> <p>② 全国の自治体で導入が進んでいる母子手帳機能と地域の情報配信機能を併せ持つ、電子母子手帳アプリ「母子モ」を導入しないか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害時にも大切なデータの保存が可能である</li><li>・予防接種スケジュールの発信など、法令に準拠し保護者の希望や医療機関の方針にも対応できる。</li><li>・こがねいっこ健康ナビの利用状況と今後の検討について</li></ul> <p>③ 三鷹市を参考に母子モのオンライン予約サービスの導入を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育施設への一時預かり保育の予約申し込み等にも対応を</li></ul>	
<p>2, デジタル分野への女性の就労促進を コロナ禍の影響で、非正規職員など女性を中心に減収や失業が増えている。社会のデジタル化により、今後人手不足が見込まれるデジタル分野の職業訓練のため、国は誰でも無料で学べるオンライン講座を用意している。周知しないか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・女性活躍推進交付金を利用し、わが市においてもデジタル分野の女性人材の育成を行わないか</li></ul>	
<p>3, 男性トイレにサニタリーボックスの設置を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公共施設の男性トイレ便器の洋式化を進めるべき</li><li>・前立腺がんや膀胱がんの手術等の影響による尿漏れパッド等の使用者に配慮し、パッドを捨てるための、サニタリーボックスの設置が求められている。女性トイレだけでなく、市役所等の公共施設の男性トイレにもサニタリーボックスを設置すべき。</li></ul>	
<p>4, 介護者支援の充実を</p> <p>① 緊急ショートステイ (特別短期生活介護) 事業には 24 時間 365 日の対応を</p> <p>② ヤングケアラーの実態調査と今後の取り組みについて</p>	



# 一般質問の通告について

発言順

12

2022年 8月 29日

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

上反井 えつ子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1 気候危機対策はまったなし！</b></p> <p><b>(1) 学校施設の電力を再生可能エネルギー100%電力に切り替えよう</b></p> <p>教育長は再エネの導入は大変有意義であるという認識を持っており、導入時期について市長が意見交換していることがわかった。まずは子ども達が再エネを理解するところから始めたとしていた。進捗を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 環境教育の実施状況は。</li><li>② 教員の研修や、教材開発、教材研究の状況は。</li><li>③ 学校施設への再生可能エネルギー100%電力への切り替えを。</li><li>④ 学校施設整備方針における「省エネ」「創エネ」の取り組みは。</li></ul> <p><b>(2) 市公共施設での再生可能エネルギー100%電力の維持と拡大を</b></p> <p>市役所本庁舎等への再エネ導入の検証後、他の公共施設への拡大についても考えたいとしていた。進捗を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 本庁舎など電力を切り替えたことによる導入効果及び料金の負担についての検証は。</li><li>② 他施設への拡大の検討は。</li><li>③ 公共施設の維持管理における「省エネ」「創エネ」の取り組みは。</li></ul> <p><b>2 文化財センターの建物や収蔵文化財は適切に維持管理をしよう</b></p> <p>市の史跡にも指定され、築90年を経過している文化財センター(浴恩館)は、施設の老朽化と収蔵文化財の保管が課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 数年前から、文化財センター出入口付近の壁の下部が朽ちているため、修繕を提案してきたが、今もそのままになっている。改めて、修繕を行うことを求める。</li><li>② 男性用トイレが使えなくなっているのはいつからか。いつ修理するのか。</li><li>③ 開設30年が経過し、古文書も含めた文化財について、十分な保管面積の確保が課題となっている。その後の検討は。</li><li>④ 文化財センター脇に、ブルーシートに包まれ、野外で“保管”されていた土器のその後は。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

13

令和4年8月29日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井 亨

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 不登校の学びの機会格差をなくそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校、または不登校傾向の子どもたちとご家庭の実情をどこまで把握できているか</li> <li>・ 校内フリースクール設置やICT活用、アウトリーチでの学習支援について実態と今後は</li> <li>・ 民間のフリースクール等に通うご家庭への経済的支援の検討状況は</li> <li>・ 教育委員会として、民間・団体との連携の仕組みを構築することが必要ではないか</li> </ul> <p>【質問意図】本来であれば、子どもの個性・特性に応じた学びの環境づくりを学校教育として実施すべきであるが、その理想に反して実態はとてども厳しいのが現状である。また、不登校や不登校傾向の子どもたちが「ありのままでもいい」という、安心できる環境と居場所づくり等の包括的な取組が必要であることが前提にある。その上で、ここでは「教育機会格差の解消」に絞って、学びの選択肢を広げるための環境整備を考えたい。</p>	
<p>2. 小金井市は子育て世代に選ばれる街をめざすはずではなかったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そもそも、なぜ0歳児保育枠がこれほど欠員が発生しているのか</li> <li>・ 「保育定員の適正化」とは何か。それはどこで議論されたのか</li> <li>・ 保育利用の選択肢を増やし、空きスペースの利活用の検討が必要ではないか</li> <li>・ 0歳児を増やす(減らさない)という意味はあるか。また、そのための具体的な政策は</li> </ul> <p>【質問意図】市は強引に行き当たりばったりの公立園廃園に着手しようとしている。そもそも、0歳児が減っている傾向に対してそれを打破する検討や取組が何かあったのか。西岡市長は“子育て環境日本一”をスローガンに掲げていたが、本気で目指すなら子育て世代が流入し続ける好循環を作るべきではないか。「子どもが減っているから減らす」は利用者にとって保育の選択肢を減らし、乳幼児数減少を受け入れていることになるのはこれまでの主張と矛盾する。</p>	
<p>3. なぜ、若者の声が市政に届かないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の市民参加・市政参画の現状と市の取組における課題は</li> <li>・ 市として今後の若者政策の取組の方向性は</li> <li>・ 「若者議会」を設置して、具体的に市政へ反映する仕組みづくりを(再提案)</li> </ul> <p>【質問意図】これまで何度も提案してきたが、改めて若者の市民参加等が進まない現状に鑑み、新城市等の取組を参考に「若者議会」を設置し、具体的にその層の声を市政に反映できる仕組みづくりが急務である。ゆえに再提案する。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

14

令和 4年8月29日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水谷たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<b>1 更年期から「幸年期」へ ライフデザインの視点で取り組もう</b>	
(1) 更年期とはいつか、どんな課題があるか。市の取り組み、現状認識は	
(2) 厚生労働省やNPO法人の調査からわかる市民ニーズ。本市はどうか	
(3) 男性にもある更年期、自分と周囲の人のためにも知ることから始めよう	
(4) 他の自治体(愛知県小牧市・三鷹市)の取り組みに学ぼう	
【趣旨】厚生労働省が令和4年7月26日に発表した「更年期症状・障害に関する意識調査」基本集計結果によると、更年期症状を自覚しても医療機関を受診しない人の割合は40歳代・50歳代で男女とも約8~9割を占める。「事前に知っておきたかった」「どこに相談すればよいのかわからない」等の声を聞き、人生100年時代を見据えて、年齢・性別等の身体特性を踏まえた生涯を通じた健康施策を考えよう。	
<b>2 改めて小金井市の広報・広聴、情報公開を考えよう</b>	
(1) 近隣自治体の市報との比較、多言語対応(福生市は100言語に対応)	
(2) プレスリリースの基準はあるか。「当事者が望まないからプレスリリースしない」という判断でよいのか	
(3) HPで「過去の事業も参考にしたい」という市民の声をどう受け止めるか	
(4) 審議会等の資料・会議録の公開ルールは。確実な運用のための体制を	
(5) そろそろHPの全面リニューアルを	
(6) 他自治体の事例に学び、広報専門官やシート活用、職員研修の導入を	
【趣旨】スポーツ推進審議会が実施したパブリックコメントを見ても、市のやることが伝わっていないという意見が多数寄せられている。広報・広聴機能の拡充は喫緊の課題。「伝える」から「伝わる」へ、広報の在り方を再検討しよう。	
<b>3 コロナ禍の中で妊娠・出産した子育て世帯への支援を急げ</b>	
(1) 妊娠中や出産後のサポートが少なかった世帯への支援の現状は	
(2) コンテナ症候群など、孤立した育児の影響を少なくするには	
(3) 支援者への研修、地域の支援とつながるしくみの検討を急ごう	
【趣旨】両親学級や乳幼児健診を受けられないまま育児をスタートした保護者は、これまでよりさらに支援とのつながりが難しくなっている。ファミサポ利用無料券の配布、子育て応援券など、他市の事例などを参考に子育て世帯を支えるしくみの導入に向けて検討を始めよう。	

# 一般質問の通告について

発言順

15

令和 年 8 月 29 日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) たけふ 貴

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 住居に困窮する市民を生み出さないよう、「住まいは人権」の立場で住宅施策の充実を求める (1) 居住支援協議会や相談窓口をより良いものに (2) 住宅マスタープランについて (3) 生活保護受給者の住宅確保を適切に  2 地域防災計画の改定について、都の被害想定の見直しも踏まえながら適切な防災対策がとれるよう改善を求める  3 学生・若者への生活支援策を求める	



# 一般質問の通告について

発言順	16
-----	----

(宛先)  
小金井市議会議長

令和 年 8月29日  
(西暦2022年)

小金井市議会議員

(署名) 村上 祥太

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 国民健康保険制度において市民に寄り添った対応を求める	
① 新型コロナに関する傷病手当金について	
② 新型コロナに関する減免制度について	
③ 国保税の値上げは行わないことを求める	
2. 物価高騰などから事業者を守るための支援を求める	
① 委託事業において物価高騰や最低賃金引き上げへの対応を行なうべき	
② 国交省の「原油価格高騰に対する緊急対策」をどう具体化しているか	
③ 公共事業における事業者支援を求める	
3. 公契約条例の制定を求める	
以上	

# 一般質問の通告について

発言順

17

令和4年 8月29日  
(西暦2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 守田けいこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>(1) 樹木の伝染病対策について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ナラ枯れの被害状況と対策、市の方針は</li><li>・ 特定外来種クビアカツヤカミキリへの対策は</li><li>・ 都市の緑を守るため組織や部署を超えた連携を</li></ul> <p>(2) 公立中学校の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今年度都立高入試に初めて導入される「英語スピーキングテスト」とは</li><li>(ア) 各校でのテスト対策は</li><li>(イ) 特別措置への対応は</li><li>(ウ) 採点方法と結果の検証方法は</li><li>(エ) 結果の発表と志望校の決定時期は</li><li>(オ) 受験生本人や保護者の理解は</li></ul> <li>・ 通知表の所見欄の記述を割愛することについて</li> <li>・ 9/27 国葬に際し、国や都から黙祷等を促す通知が来た場合の対応は</li> <p>(3) 生活保護受給者に寄り添う支援を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ケースワーカーが交代する場合の引き継ぎは</li><li>・ 所持金がない場合の対応について</li><li>・ 各種手続きや通院等への同行支援について</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

18

令和 4年 8月 29日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>新型コロナ感染症対策の見直しを国に求めるべきである</p> <p>1. 新型コロナの現状を数値で検証する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 感染者数</li><li>② 重傷者数</li><li>③ 死亡者数</li><li>④ 後遺症</li><li>⑤ 季節性インフルエンザとの比較</li></ul> <p>2. 指定感染症分類の見直し</p> <p>3. mRNAワクチンの危険性を認識すべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 従来ワクチンと今回のワクチンの違い</li><li>② ワクチン接種後の感染率</li><li>③ ワクチン接種後の重症・死亡者率</li><li>④ ワクチン接種後の後遺症</li><li>⑤ 超過死亡者数激増の原因究明を求めるべき</li><li>⑥ 子供のワクチン接種の意味</li></ul> <p>4. いつまでマスクを着け続けるのか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① マスクの化学的有効性</li><li>② 世界の要人との会談でのマスク着用</li><li>③ 子供マスクの有害性</li></ul> <p>5. PCR検査の実態</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 全数把握の意味</li><li>② PCR検査の精度</li><li>③ 感度と特異度</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

19

2022年 8月 29日

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山あおる

発言通告書（一般質問）  
小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>居住支援と女性支援について</u></p> <p>1) 7月に開設された居住支援相談窓口の相談や支援状況を、居住支援協議会はどのように把握し充実をはかるのか。居住支援協議会設立にかかる開設イベントや講演会など、市民への周知は。市内不動産店への協力の呼びかけは。住まいがない人への支援と、生活保護への速やかな連携は行われているのか。</p> <p>2) 福島原発事故被災者等、被災者の居住支援は。</p> <p>3) 困難を抱えた女性への女性支援法に基づく支援体制と居住支援の課題は。</p> <p>4) 実行性のある居住支援を行うために、市内での居住支援法人設立の支援を。</p> <p>2. <u>LGBTQへの理解の取り組みとパートナーシップ制度の充実</u></p> <p>1) 学校での生徒指導提要の改訂に基づく、LGBTQへの理解を求める取り組みの検討は。保育現場での配慮は。</p> <p>2) LGBTQ当事者による講演等を企画しないか。当事者の声の把握は。</p> <p>3) パートナーシップ制度の見直しや充実の検討はどのような状況か。</p> <p>3. <u>子どもの権利保障の要となる「子どもオンブズパーソン」に</u></p> <p>9/1 開設の「子どもオンブズパーソン」は市民の長年の要望だった。子どもの権利条例策定委員会の答申では、相談救済の実行的な機関の設置が求められていたが、当時の市長が提案した条例案からは外されていた。2009年に子どもの権利条例が制定された後、13年経って、ようやく設置されるが、子どもの権利保障の要となるため、どのように市の施策に切り込めるのかが重要な課題である。</p> <p>1) 開設イベントや、学校、保育所などへの出張授業など、市民や子どもへの周知は。</p> <p>2) 子どもの権利条約、権利条例に掲げる、子どもの権利の侵害に対し、市に是正が求められた場合、市は子どもオンブズパーソンの勧告を受け入れ、速やかに是正すべきである。昨年7月から続いている公立保育園廃園問題は、子どもが権利の主体であること、子どもが安心して生きる権利、ゆたかに育つ権利、遊ぶ権利、育ち学ぶ施設での子どもの権利、子どもにやさしいまちづくりの推進等に反する、権利侵害の最たるものであるが、市はどのように認識しているのか。</p>	



# 一般質問の通告について

発言順 21

令和 4 年 8 月 29 日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 湯沢 綾子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 市のコンプライアンス推進と内部統制の必要性について	
(1) コンプライアンス推進委員会は十分に役割を果たしているか	
(2) コンプライアンスを推進するための手段として内部統制の考え方を取り入れていくべきではないか	

# 一般質問の通告について

発言順

22

令和 4 年 8 月 29 日  
(西暦 2022 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺 大 三

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 梶野通り(東小金井駅北口～北大通り)及び東小金井駅北口駅前公園は、シビックプライド(都市に対する市民の誇り)を醸成する観点からも、特色ある整備が必要と考える。現状の到達点と今後に関して問う。</p> <p>2 武蔵小金井駅北口及び武蔵小金井駅nonowa北口は、緑化が極めて貧弱となっている。街路樹の植栽に関して、可能性を問う。</p> <p>3 他自治体の状況から考えると、本市においても市民税課と資産税課を統合して「課税課」とすることが可能であると考え。また、総務課と選挙管理委員会事務局も統合が可能であると考え。組織の簡素化の観点から、見解を問う。</p>	